

番号	1
----	---

令和6年度七生特別支援学校年間指導計画

学部	中学部		学年	1年		
教科等名	国語・数学		グループ名	重度・重複学級		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な言葉や数を知る。 ・人との関わりの中で、身振りやサインを通して、伝え合う力を養う。 ・国語、数学で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。 					
担当教員	○桑原 真明 金子 蓮菜 桐山 知行					
年間授業時数	140					
使用教科書	東京書籍 「国語☆☆☆☆」 教育出版 「数学☆☆☆☆」					
月	単元(題材)名	指導時数	★	主な学習内容	ねらい(評価の観点)	指導の工夫
4 5 6 7	(国語) 自己紹介をしよう 言葉の意味・仲間の 言葉	24	○	<ul style="list-style-type: none"> ・弁別、分類、マッチング ・名称理解 ・用途理解 ・運筆、文字入力 ・読書活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の名前カードを貼ったり、呼名に返事をしたりすることができる。 ・正しいカードや具体物を選択し、やり取りをすることができる。 ・一定時間集中して話を聞いたり、自分から意思を伝えようしたりすることできる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材として、操作性の高い実物や具体物を使用する。 ・繰り返し学習し、学習内容の定着を図る。 ・学習環境を整え、使用する教材のみを提示する。 ・言葉掛けをする内容を精選する。 ・タブレット端末のアプリを使用し、なぞり、分別、マッチング学習の定着を図る。
9 10 11 12	物語を楽しもう いろいろな線や文字 を書いてみよう 学習発表会のセリフ を言おう	28	○	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大模倣 ・指差し、サインの理解 ・動作語理解 ・運筆、文字入力 ・読書活動 ・学習発表会練習 	<ul style="list-style-type: none"> ・昔話や物語に注目し、絵本に出てくるものについて知る。 ・教師の話に触れ、音声を模倣したり、表情や身振りで表現をしたりする。 ・教師や絵本などを注視することができる。 	
1 2 3	同じものを選ぼう 本を読もう	18	○	<ul style="list-style-type: none"> ・弁別、分類、マッチング ・名称理解 ・用途理解 ・好きな本を選ぶ、読む 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真やイラスト、絵カードのマッチングができる。 ・指示されたものを、選択することができる。 ・教師とのやり取りを楽しむ。 	
4 5 6 7	(数学) 数えてみよう 分けてみよう	24		<ul style="list-style-type: none"> ・5までの数を数える。 ・数量や数字のマッチング、分類をする。 ・同じ形やイラストをマッチングする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・5までの整数について知り、順番に数えることができる。 ・数量や数字の形の特徴に注目することができる。 ・学習を生活に活用することができる。 	・生徒が親しみやすいイラストや具体物を活用する。
9 10 11	形を調べよう	22	○	・形ごとに具体物を分類する。	<ul style="list-style-type: none"> ・形の違いに気付くことができる。 ・指定されたものを選択することができる。 ・形の学習に関心をもって取り組むことができる。 	・生徒が操作しやすい教材を使用する。 ・タブレット端末のアプリで学習の定着を図る。
12 1	大きさを比べよう 長さを比べよう 重さを比べよう	10		<ul style="list-style-type: none"> ・複数の具体物を、大きさや重さによって区別する。 ・長さを基準に、具体物を並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物の長さ、重さに注目して、違いを理解することができる。 ・身近にある物の大きさや重さについて知り、区別する。 ・長さの感覚を、生活や学習に活用することができる。 	・生徒にとって身近な具体物を使用する。 ・差の極端な物から比較していく。
2 3	時間を知ろう カレンダーを知ろう	14		<ul style="list-style-type: none"> ・短針の位置が同じイラストを選ぶ。 ・カレンダーを使い、日にちの流れ(昨日、今日、明日)を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間や時計の性質を知る。 ・日にちの流れ、時間の感覚を、生活や学習に活用することができる。 ・時計やカレンダーに注目できる。 	・教師が先に手本を示し、生徒が活動に明確な見通しをもてるようにする。

※タブレット端末を活用する予定の内容については、★欄に○をつけています。